7月園だより

２０１９年度 年主題〈ことばに満たされて～ひびきあう～〉

0･1･2歳児７月主題 「触れてみる」

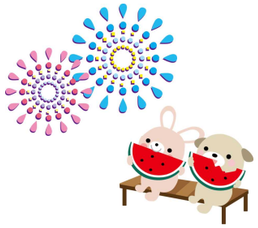
月のねがい

◎保育者の祈る姿にふれる(0) ◎水や砂に触れてみる(0)
◎絵本や歌を楽しむ(0) ◎沐浴や温水遊びを通して、気持ちよく過ごす(0)
◎絵本や歌を通してことばの豊かさにふれる(1.2)
◎保育者の援助をうけながら、自分の思いを伝えようとする(1.2)
◎水や砂、土に触れて感触を楽しむ(1.2) ◎神さまに守られている園生活を喜ぶ(1.2)

3･4･5歳児７月主題 「試す」

月のねがい

◎祈りたい気持ちがめばえ、表そうとする
◎たっぷりとした時間の中で試したり、考えたり、失敗してももう一度やろうとする
◎楽しいことを重ねる中で、様々なことへの興味関心を広げる
◎砂遊びや造形を通して、豊かなことばに出会う



今月の聖句

すべてのことにおいて感謝しなさい。

Ⅰテサロニケ5：18

この言葉は切離せない3句で構成されています。その句を再掲します。
「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」と続きます。「これこそ神が望んでおられることなのです」19で結んでいます。祈りは三つを結ぶキーワードです。
本学園では、開設以来「主の祈り」を取り入れております。呪文の様なことばを唱えて何の教育的価値があるのかという批判もありますが、これは教育内容としてではなく、霊魂をもつ人間の霊的活動として理解しましょう。祈りは訴えであり語りかけであり、神との交わりです。ちなみに、主の祈りはキリストさまが直接教えてくださったものです。
主の祈り第１ 神様に呼びかけるための祈り 「天にましますわれら父よ」
主の祈り第２ 新天新地を求める祈り 「名をあがめさせ給え み国を来たらせ給え み心の天になるごとく 地にもなさせ給え（平和に関する意味も含まれます。）
主の祈り第３ 衣食住の必要を求める祈り 「我らに必要な日々の糧を今日も与え給え」
主の祈り第４ 罪を許しあうための祈り 「我らに罪を犯す者を赦ス如く我らの罪をも赦

７月の行事予定

３日（水）	海遊び 4･5 歳児・弁当日
４日（木）	海遊び 2･3 歳児
５日（金）	七夕事業所訪問
６日（土）	夏祭り・弁当日（２・３号）
13・14 日	お泊まり保育（年長児）
１６日（火）	市営プール遊び（年中長児）
１７日（水）	７月誕生会
１９日（金）	１学期終園式(1号:午前保育)

８月の行事予定

１日（木）	夏期保育・そうめん(午前保育)
13～15日	１号休み（2.3号弁当）
２１日（水）	夏期保育(8月誕生会・午前保育)
２４日（土）	夏期おやぢ保育

お泊まり保育

七夕訪問

歯科健診

プールあそび

海あそび

これ、どうやってつくるの？

さあ、ついに7月になりました！種子島のキラキラした海に行って海遊び、プール遊びや水遊びで気持ちよくが楽しみたい季節です。

さて、園では月に一回程度給食の調理員と給食会議を行っています。新メニューの検討や子どもたちの食事の様子、衛生面の配慮事項などを話し合っています。その中で、「今年の子どもたちはよく食べる！」と、調理員から報告がありました。また、今までなら「給食美味しかったー！」と子どもたちから言われることもあったけれど、今年は「これ、どうやって作ってるの？」と、給食やおやつの作り方を聞かれることがよくあるとのこと。作り方や何の食材で作ってあるのかに関心をもてるなんてすごい！と感じました。

先日、私がたんぽぽ組に入室した日のこと。、給食を食べ終わると、「今日の給食美味しかったー！給食の先生にあとでありがとうって言ってくる！」と言う子がいました。給食を通して、作ってくれている方への感謝の気持ちも、子どもたちの中に育ちつつあることにとても嬉しくなりました。

６月には講師をお呼びして、調理員と郷土の食材を使った調理実習を行ないました。ザコや安納芋、またでんぷんを使ったメニューを教えて頂きました。7月の献立に早速登場しています！子どもたちからのリクエストメニューのレシピを献立表にご紹介していますので、どうぞ参考にしてみてください。暑くなると食欲も落ちてしまいがちですが、いっぱい体を動かして、食べて、ぐっすり眠ることが健康に一番です！

気がつけば、1学期も残りわずか！行事が盛りだくさんの7月です。子どもたちも保護者の皆さまも、お元気に過ごすことができますよう心からお祈りしています。 大河

太陽と水と砂の子どもたち

”笹の葉さらさら 軒端に揺れる♪”子どもたちの元気な歌声が聞こえてきます。軒端（のきば）なんて言葉もさっぱり聞かなくなりましたね。床の間や縁側なんて言葉、子どもたちは知っているのかな？梅雨明けが待ち遠しい今日この頃です。

さて、雨も気になりますが、早速今週は海遊びが計画されています。種子島の宝である大自然に飛び込んで、夏ならではのダイナミックなあそびを楽しんでいきたいと思います。過日、多くの保育施設を設計しておられる日比野拓氏の講演を聴きました。氏が関わった保育施設（阿久根めぐみこども園もその一つ）はどれも素晴らしく、子どもファーストの夢に溢れた空間が創られていました。園舎も素晴らしかったのですが、なんといってもダイナミックで工夫に富んだ園庭設計には胸が高鳴りました。子どもたちが遊びの中で、熱中するルーティーンを見つけ出す過程はとても大切です。「そうきたか！」と唸らせる発想に驚かされます。シンプルな繰り返しが「あしたもしようね！」の合い言葉を生み出すのです。横一列の達成度より、自らが探求していく姿が尊く美しいと思います。氏が言われた「好奇心を奪わないで！」の言葉に何度も頷いてしまいました。

本学園の二園とも子どもたちが体を動かす環境には恵まれていると自負しております。特に起伏に富んだ地形は、無意識に運動量が確保され、身体の発達とともに、思考力や学びへのめばえを与えてくれる財産だと感謝しています。

今月の三歳未満児の保育主題は「触れてみる」です。水や砂、土に触れいろいろな感触を楽しみます。中でも水は最強の魅力的な玩具。水たまりの水、水道の水。こぼれたコップの水、ガラスについた水滴・・・。確かにあるのに掴めない、終わりなく変化していく不思議な存在に執着していきます。また、3歳以上児の主題は「試す」です。簡単に言えば、気になるコトやモノに興味・関心を持ち、まずはやってみることでしょうか。少々大げさですが、ある子どもにとっては、「お泊まり保育」は”試練”の一つかもしれません。しかし、この試練を成し遂げた後に訪れる”達成感”は、大きな”自信”という賜物になることでしょう。

海や川、山や野原で走り回り、カニや小魚やカブトムシを追いかける。時にはロケットが飛んでいく姿を見上げる。人生の基盤となるこの時期を、家族や友だちと種子島で過ごす子どもたち・・・なんて素晴らしい時間を与えられたこ

≪ 子どもと一緒に遊ぼう PartⅢ 「パズル」≫

何とも頼もしい表情です。ジグソーパズルをしている彼女の脳の中では、一体どんな発達が進んでいるのでしょう？完成図を予想する想像力、全体と部分を見る観察力、形の認識、色の認識、数の認識、ピースをはめる手先の器用さなどが活発に働き、これらを総動員して「集中して考える力」が培われています。こども園でも「どこからやったらいいの？」「ここは何色？」「これはどこ？」と質問攻めで「できなーい！」から「わかった！」「あと３つだ！」「できるよ！」と言えるようになるまで子どもたちは自ら何度も何度も繰り返し習得しています。そして友だちにも上手に説明していたりします。こうした体験を積むことで、記憶力や論理的に考える力、そして言葉で伝える言語理解も豊かに育まれているように思います。

パズルには様々な種類があり、1歳未満から楽しめるのが1枚ピース。○△□の型はめパズルです。①図は円柱差しもついていて、達成感を体験しやすい楽しい玩具です。また1歳から2歳にかけては②図のような2枚パズルから6枚パズル、12枚パズルなど子どもの興味に合わせてピース数を増やしていくこともができます。③図の型はめパズルは回転盤になっていて、子どもの興味のあるものを○板の下にそれぞれ隠して記憶させ、回転させて位置を変えるという空間の変化にも対応できる記憶力を育てることを目的とした玩具です。

❶

❷

❸

その他にも、全体と部分の構成を触覚と視覚で判断することを目的とした④⑤や、二次元（平面）と三次元（立体）の具体的な理解を目的とした⑥のギアパズルなどもあります。どのパズルも色・形・数、そして大小長短等にも興味が持てる作りになっていて、幼児期に獲得しておきたい様々な概念理解の能力がグングン伸びていきます。お子さんの新たな能力にきっと驚かされるでしょう（当園でも展開している玩具を紹介しました）。

❻

❺

❹

木口屋 恵子